NPO 法人草加市カヌー協会

草加パドラーズ

[会報第 89 号] 平成 30 年 5 月 23 日発行

□草加パドラーズ事務局　住所　草加市松江 2-4-16□電話　048-931-3844

綾瀬川・中川流域

足立区と連携花畑運河視察

5 月 19 日(月)

草加パドラーズ木村、古田、相原、二ノ宮の 4 名が足立区・エコロジー夢企画三井元子さんご夫妻に誘われ、花畑運河へ遠征視察しました。明治 43 年大水害を教訓に、昭和 6 年に完成した綾瀬川と中川

を結ぶ 1.4ｋｍの運河で、近年、地域の

方たちが、安全で親しめる水辺環境を目指して活動を始めたそうです。今後も足立区の皆さんと、河川美化活動、安全で親しめる水辺を作っていく活動を連携していきたいと考えています。

※視覚障がい者の皆さんたちとの交流が、**東武よみうり新聞**で紹介されました。

2018.5.21

東武よみうり

障害者向けカヌー体験会

草加パドラーズ
綾瀬川でごみ回収も

草加市のカヌー愛好団体「草加パドラーズ」（木村高明代表、会員42人）が12日、同市松江の綾瀬川左岸船着場付近で視覚障害者向けのカヌー体験会を開き、同時に浮遊ごみの回収作業を行った＝写真＝。

同市の視覚障害者団体「虹の会」（宮田新一代表）の要望で開いたもので、宮田代表ら視覚障害者6人と介助者8人の計14人が参加した。全員がライフジャケットを身につけ、カナディアン・カヌーに乗り込み、パドラーズ会員からパドルの操作を教わりチャレンジした。

最初は不安で恐る恐るカヌーに乗っていた障害者も、すぐに慣れ力強くこぎ始め、〝綾瀬川遊覧〟を楽しんだ。最後に、会員らの誘導で二人三脚で、玉網で川に浮遊するペットボトルや空き缶などのごみをすくい取った。45リットルのごみ袋1袋はたちまちいっぱいになっていた。

約1時間半、草加パドラーズの会員15人（大人7人、小中学生8人）と交流した障害者らは「ドキドキ、ワクワクで楽しかった」と笑顔で話していた。

宮田代表（72）は「かつて日本一汚かった綾瀬川でカヌー体験が出来るようになって、うれしかった。希望者がたくさんいるので、今後もぜひ体験会を開いてほしい」と話した。

《環境団体との連携》

① 川の国応援団「川の再生交流会」地域連絡会

5月15日(火)、新越谷サンシティーへ草加・越谷・川口・春日部地域の活動団体代表が集まり、本年度は、**越谷市が**地域交流会を担当することが決定されました。

② 特定非営利活動法人「今様草加宿」定例総会に参加

5月17日(木)、埼玉屋旅館会議室で「今様草加宿」定例総会が開催され、草加パドラーズも賛助会員として参加しました。街づくりの先頭に立ち活動する当会と連携しながら、左岸船着場を中心にして、水辺環境の改善に取り組んでまいります。